

令和7年9月19日

雲仙市

担当課	総務部 政策企画課
担当者	参事補 黒田
電 話	0957-47-7709
F A X	0957-38-3514

「雲仙市市制施行20周年記念フォーラム」の開催について

本市におきましては、平成17年10月の市制施行から本年で20年を迎えることから、これまでの20年の歩みを振り返るとともに、将来に向かって更なる飛躍を果たすため、本市の最重要課題である人口減少問題をはじめ、各種施策に取り組んでいます。

本市の現状と未来を考える機会を創出し、市民参画を踏まえた市民と行政の協働による体制を強化することを目的に、下記のとおり雲仙市市制施行20周年記念フォーラムを開催することとなりました。

つきましては、フォーラムの内容等について紹介いたしますとともに、フォーラム当日におきましても取材していただきますようお願いいたします。

記

1. 名称 雲仙市市制施行20周年記念フォーラム
「つなげて広げる 雲仙市の可能性」～子ども・若者～
2. 日時 令和7年10月12日（日）13:00～16:00 （12:30 開場）
3. 場所 愛の夢未来センター 大ホール（雲仙市愛野町乙526-1）
4. 内容
 - ・基調講演「地域の知恵で輝く雲仙」
講師：増田 寛也氏

元総務大臣、前岩手県知事、2020年1月～2025年6月まで日本郵政社長、25年6月より野村総合研究所顧問。令和国民会議（令和臨調）共同代表、人口戦略会議副議長。著書『地方消滅東京一極集中が招く人口急減』により、人口減少問題を社会に問いかけた。

・パネルディスカッション

パネリスト：増田 寛也

中村 桂子（JT 生命誌研究館名誉館長）

坪井 ゆづる（地方自治総合研究所客員研究員）

金澤 秀三郎（雲仙市長）

荒木 政勝（雲仙人の会会長）

堀口 治香（雲仙人の会事務局）

進 行：野口 智子（ゆとり研究所）

・景観絵画コンクール「未来に残したい雲仙市の自慢の風景」表彰式

5. 参加費 無料

6. 申込み方法

参加申込みについては、本庁政策企画課まで電話にてご連絡ください。また、下記申込フォーム（インターネット）による申込みも可能です。

申込み期限：令和7年10月10日（金）

問い合わせ先：雲仙市政策企画課 電話 0957-47-7709

申込フォーム⇒



16:00 閉会

雲仙市の可能性



これまでの二〇年の歩みを振り返り、今後の雲仙市について考える課題解決への新たな一歩を踏み出すことを目指します。

雲仙市は、平成十七年一〇月十一日に発足し、市制施行二〇周年の記念すべき年を迎えます。

「雲仙人の会」の展示・販売があります

参加無料

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
お楽しみに ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

10月12日

(開場 12:30)

13:00 から

16:00まで

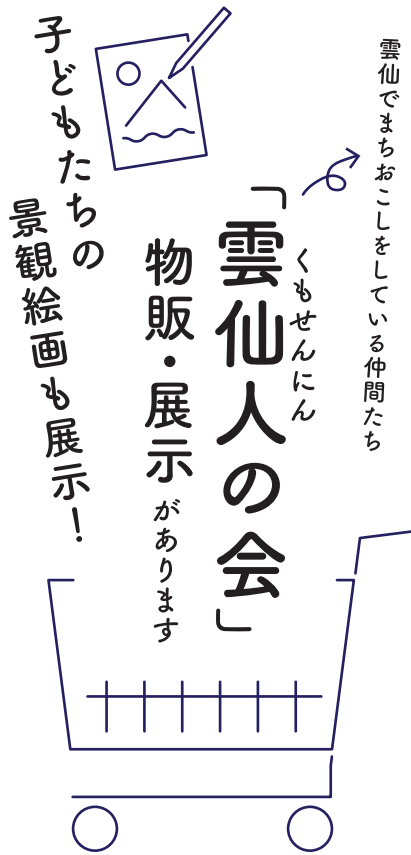
愛の夢未来センター
大ホール

所在：雲仙市愛野町乙526-1
TEL：0957-36-0616

協力：スローライフの会 雲仙人の会



登壇者プロフィール



お申し込み方法

以下のQRコードからお申し込みください。
(雲仙市役所又は各総合支所でも可能)

▼お申し込みフォーム



申込締切：2025年10月10日(金)

当日参加も可能です。
お気軽にご参加ください。

問合せ先

雲仙市役所 総務部 政策企画課
〒859-1107
長崎県雲仙市吾妻町牛口名714 番地
TEL: 0957-47-7709
FAX: 0957-38-3514
Email: kikaku@city.unzen.lg.jp



ますだ ひろや
増田 寛也 さん

野村総合研究所顧問
スローライフの会共同代表

元総務大臣、前若手県知事、
2020年1月～2025年6月まで
日本郵政社長、2025年6月より
野村総合研究所顧問。令和国民
会議(令和臨調)共同代表、人口
戦略会議副議長。著書『地方消滅
東京一極集中が招く人口急減』
により、人口減少問題を社会に
問いかけた。



なかむら けいこ
中村 桂子 さん

JT生命誌研究館名誉館長
スローライフの会共同代表

生命誌研究者、理学博士。早稲田
大学人間科学部教授、大阪大学連
携大学院教授などを歴任。2002年
4月～2020年3月までJT生命誌
研究館館長。常に「人間は生きもの
である」の視点で社会に提言をし
ている。著書に『中村桂子コレク
ション いのち愛づる生命誌Ⅰ～
Ⅵ』ほか多数。



つばい
坪井 ゆづる さん

(公財)地方自治総合研究所客員研究員
スローライフ瓦版編集長

1958年生まれ。82年朝日新聞入
社。政治部員、論説委員。夕刊コラ
ム「素粒子」担当など。日本自治
学会理事、京都大学客員教授、日
本記者クラブ企画委員など歴任。
24年から現職。著書に『「転回」す
る地方自治 警鐘の記録』など。



かなざわ ひでさぶろう
金澤 秀三郎 さん

雲仙市長

私立青雲高等学校卒。元県議会
議員。2013年1月から雲仙市長。
市政施行20周年を迎えて、次世
代においても安心して暮らす
ことができる環境づくりに向
けて、「継続」と「改革」の2つ
の視点を持って市政運営に取り
くんでいる。



あらき まさかつ
荒木 政勝 さん

「雲仙人の会」会長

雲仙市千々石町出身。農業を営
む傍らバンド活動にも取り組
む、ドラム担当。毎夏、音楽を中
心としたイベント「ミニフェス
in 千々石」を開く。子どもたち
に農業について話をしたり、
農業体験の機会提供も。大みそ
かには棚田に灯りをともし活
動を続けている。



ほりぐち はるか
堀口 治香 さん

「雲仙人の会」事務局

東京都府中市出身。有機農業に
関心を持ったことをきっかけ
に、2019年度から3年間、雲仙
市地域おこし協力隊として活
動。現在は(一社)雲仙観光局の
地域営業部として働く。雲仙市
の中山間地風景を描いたイラ
ストで個展。伝統野菜料理の伝
承にも取り組む。



のぐち ともこ
野口 智子 さん

ゆとり研究所所長
スローライフの会共同代表

2000年、ジャーナリストの故・
筑紫哲也とスローライフ運動
を始める。これまでに25以上の
自治体と「スローライフ・フォー
ラム」を開く。雲仙市では2015
年に。その後、雲仙市の地域づく
りに協力し「雲仙人」(くもせん
にん)の組織も立ち上げた。



さかた けいこ
坂田 啓子 さん

スローライフの会会員

佐賀県小城市職員時代にスロ
ーライフ事業を担当。現在、
佐賀県庁勤務の他、地域に飛
び出す公務員を応援する首長
連合事務局、ホワイトボード・
ミーティング®認定講師とし
て活動。



みやた かずあき
宮田 和晃 さん

「雲仙人の会」会員

雲仙市小浜町出身。ジャガイモ
をメインに年間を通して野菜
を生産。ピーツの生産を始め、
注目を集め、雲仙ブランドに認
定。市内の旅館や飲食店の料理
人たちの間で使用されてファ
ンも増加中。野菜ソムリエの一
面もあり、野菜の栄養価や料理
のアドバイスもしてくれる。